精密分析室の利用について

2023 年 4 月 5 日

精密分析室長　高井　和之

精密分析室では、以下の装置を法政大学小金井キャンパスの教職員・学生に対し公開しています。

		利用可能時間
X 線光電子分光装置(ESCA5600)	**X**-ray **P**hotoelectron **S**pectroscopy	月～金　9 時～17 時 土　9 時～12 時
走査型オージェ電子分光装置(SAM650)	**A**uger **E**lectron **S**pectroscopy	
走査型電子顕微鏡装置(Regulus8220/SU-8020)	**S**canning **E**lectron **M**icroscopy	
透過型電子顕微鏡装置(JEM-2100F/2000/H-7650)	**T**ransmission **E**lectron **M**icroscopy	月～金　9 時～17 時
NMR 分光装置(AVANCEⅢ400)	**N**uclear **M**agnetic **R**esonance Spectroscopy	月、水、金 9 時～15 時

利用者希望者は、以下の利用規則および注意事項を守って装置を利用してください。なお、上記装置に関する技術相談は随時受け付けております。新たに利用を検討している方、測定技術や解析に関する質問がある方は、お気軽にお越しください。

相談内容　上記機器分析についての基本的あるいは一般的な知識、情報、注意事項
具体的な試料についての分析方法、上記機器の性能、使用方法　等

精密分析室利用にあたっての規則および注意事項

- 利用希望者は、すでに十分な使用経験を有する者を除き、必ず装置管理者による利用者講習を受講して下さい。講習は、必要に応じ随時開催します。
- 装置を使用する際は、必ず装置管理者に声をかけてから行い、特に装置の使用方法に慣れていない場合や不安があるときは、装置管理者立ち会いのもと行って下さい。ただし、十分な利用経験を有する者は、上記時間以外の利用を許可する場合があります。詳細については、直接装置管理者にお問い合わせください。
- いずれの装置についても、装置管理者の不在時に不明な点や装置に異常が認められる場合には、直ちに実験を中止し、装置管理者にお知らせ下さい。
- 装置によっては、学生実験等で使用している時間帯があります。詳細は装置管理者にご確認ください。
- 装置によっては、予約が必要です。予約方法は装置毎に異なります。詳細は装置管理者にご確認ください。
- 装置のウイルス感染を引き起こさないようにご注意下さい。
  USB メモリーでの取り出しが許可されている装置では、ウイルスチェックを必ず行うようにして下さい。
- 測定終了時は、次のユーザーに引き継ぐ前に、必ず各装置に置かれている簡易マニュアルに記載されている停止処理を行った上、利用者記録ノートに使用記録を記入して下さい。データ等ファイルは各自の責任でバックアップを取っておいてください。
- 利用者は、測定終了後は必ず装置周辺の清掃を行い、退室して下さい。
- 精密分析室内での飲食、オンライン授業の受講は禁止します。
- 上記の規則を守れない場合は利用を禁止する場合がありますのでご注意ください。

以上

装置管理者：

ESCA5600, SAM650, SU-8020, Regulus8220　担当:高島　正樹　(masaki.takashima.86@adm.hosei.ac.jp)
JEM-2100F, H-7650　担当:時盛　ひとみ　(hitomi.tokimori.74@adm.hosei.ac.jp)
AVANCEⅢ 400　担当:長谷部　明子　(meiko.hasebe.34@adm.hosei.ac.jp)
精密分析室内線番号：7046　URL: seimitsulab.ws.hosei.ac.jp/